

1年間ありがとうございました

学校長 杉森伸吉

冬の寒さも和らぎ、梅の花が咲き、桜のつぼみもほころび始め、今年も例年通り春が訪れました。この1年間が、学校としても大きな変化への対応に明け暮れておりただけに、今年も今までと変わらぬ春が訪れてくれたことに、例年以上に感動を覚えています。

昨年の緊急休校要請から1年余りが経過した中で、本校の教職員も、保護者の皆様も、そして子どもたちも、ときに戸惑いつつも非常によく頑張ってきた、と思います。

未知の出来事、未体験の出来事が起きる中で、新型コロナウイルスを、いたずらに恐れ過ぎず、しかし侮りすぎず、できるだけ科学的な知識を参照しながら「正しく恐れる」ことを念頭に置きつつ、学校行事や学習活動などのさまざまな変更を行って参りました。

また、子どもたちにとっては、大人が恐れ過ぎることは恐怖体験として脳裏に刻まれてしまう可能性もあるため、大人の側の感情調整も必要な1年間であったと思います。

こうした中でも、教職員や保護者の皆様のご理解とご支援のおかげで、夏以降は様々な活動を、例年と大きな遜色のないかたちで実施できて来たのではないかと感じ、そのご理解とご支援に厚く御礼を申し上げる次第です。おわかれ音楽会で音楽を下級生からプレゼントされたときの6年生のうれしそうな表情、お子さんの演奏やオペレッタを見た保護者の皆様のうれしそうな表情、オペレッタ後に6年生と1年生が一緒になったときのうれしそうな表情を見て、「いつもの笑顔が戻ったなあ」としみじみ思いました。

この大変な1年の中で、生活団等をまとめて頑張ってくれた6年生の皆さんを送り出すことには感謝や喜びとともに、寂しさもひとしおに感じます。卒業生の皆さんや保護者の皆様、本当に6年間ありがとうございました。4月からも素晴らしい新生活が待ち受けていることと思います。菊の園での体験をもとに、ますます幸せに生きていかれんことを、心より祈っております。

1年生の皆さんにとっても、とくに1学期は例年とは大きく異なる中、とてもよく落ち着いて、学校生活にも慣れ、多くのことを学ぶことができたと思います。5年生以下在校生の皆さんも、本当によく頑張りました。4月からは学校生活も例年に近づいていくと思いますので、昨年に体験できなかった様々な体験ができることと、楽しみにしていただきたいと思います。

コロナ禍により、日ごろ当たり前感じていたことのありがたみを、再認識することができました。人と当たり前に会って、会話ができることの喜びや大切さも、あらためて感じることができました。また、ズームなどを使った遠隔授業や行事、PTA講演会などのネット配信のメリットなども体験することができました。今年度に得られた様々な気付きを生かして、次年度もより良い学校づくりに向けて励みたいと思います。国際バカロレアのPYP認定校に向けても努力しております。今後もご家庭や卒業生と協力しつつ、皆様や学校の今までの努力が来年度花開くことを祈念しつつ、年度末のご挨拶とさせていただきます。